

2014年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2014年8月3日
発行人 日本基督教団 関東教区
埼玉地区委員会
委員長 土橋 誠
飯能市柳町 23-8
http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/
印刷所 (株)シャローム印刷

埼玉地区総会報告

熊谷教会 布村 伸一

二〇一四年度埼玉地区総会は三月二十一日(金・春分の日)に東京聖書学校吉川教会を会場に、開催された。開会礼拝の説教は、この三月で東



大宮教会を辞され、東京教区牛込区に転任する山ノ下恭二牧師がご奉仕された。

地区総会の議長は、土橋誠牧師(飯能、地区委員長)が担われた。組織会で正議員一三七名のうち一〇四名が出席。また、関東教区からの問安使、熊江秀一牧師(副議長・新津)と石川晴彦兄(宣教部委員・足利)の挨拶を受けた。

(1) 二〇一三年度地区諸報告、二〇一三年度地区会計決算報告承認及び会計監査報告承認の件、各々承認。
(2) 地区委員選挙(半数改選)
教師 金田佐久子(西川口 再)、末永廣(小川 新)、川染三郎(鴻巣 新)、信徒 小岩晃(上尾合同 再)、国府田秀行(上尾使徒 新)の各氏が当選されました。任期継続者教師 山岡創(坂戸いずみ)、野村忠規(東松山)、布村伸一(熊谷) 信徒 後藤龍男(和戸)、豊川昭夫(越谷)の各氏。



なお、教師 都築英夫(秩父)、山田称子(浦和別所)、信徒 結城恭子(大宮)の各氏は二期四年を満了。
(3) 二〇一四年度宣教活動計画及び予算について

主題「主にある交わりを深めよう」
聖句「愛する者たち、互いに愛し合いましよ。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。」(ヨハネの手紙一 四章七節)が昨年同様に掲げられた。特に、今年度は、地区全体修養会準備の年であり、新しく修養会

委員会を構成し、二〇一五年の開催に向けて取り組む予定であることが土橋委員長より報告された。また、地区委員会として、(1) 各委員会・各部の働きを推し進め、支援すること、(2) 各個教会・伝道所と共に悩みや喜びを分かち合うこと、(3) 「埼玉地区新年合同礼拝」を一区、二区、三区それぞれで行うこと、(4) 日本基督教団東日本大震災救援募金に協力すること、(5) 関東教区の「韓国基督教長老会京畿中部老会との交流」特設委員会に協力することの五つの活動の柱が土橋委員長より提起され、賛成多数で可決された。また、二〇一四年度予算について、会計の結城恭子姉より説明があり、質疑応答の後、賛成多数で可決された。

議案第七号地区会計監査委員選出の件、議案第八号地区総会議事録承認に関する件、議案第九号次期地区総会会場及び日程の件については、二〇一四年度の地区委員会に付託することが、賛成多数で可決された。
二〇一四年度の埼玉地区の活動が、主にあつて真の教会の豊かな交わりとなりますよう祈り願います。最後になりましたが、会場を提供しご奉仕くださいました東京聖書学校吉川教会の深谷春男先生、美歌子先生はじめ教会員の皆様、東京聖書学校の神学生の皆様に心から感謝申し上げます。
(地区委員会書記)

この三月にイスラエルを訪問した。主イエスがゲッセマネの園で捕縛された後、引き立てられて行ったカイアファの官邸跡(鶏鳴教会と同所)がエルサレムにある。その脇に二千年前、主イエスも歩いた階段道が残されているが、現在は柵に保護され誰も歩くことはできなくなっている。

同エルサレムで、ダビデの町の下方にあるシロアムの池が二〇〇五年に発掘された。それ以前に案内された池はシロアムではなかった。池から城壁まで続く道路の発掘作業が進められていて、今回、道路の脇の「排水路」が公開されていた。狭い排水路を歩いて登りながら、右壁の向こうに埋まっているその道は、主イエスからまぶたに泥を塗ってもらってシロアムの池を往復して癒やしてもらった人、主イエスや弟子たちも歩いたであろうことをイメージできてうれしかった。
二千年前の歴史に触れる喜びがかの地に今もある。三年後の再訪を楽しみにしている。
(中村)

地区委員長挨拶

飯能教会 土橋 誠



三月の地区総会において二〇一四年度の埼玉地区宣教計画及び予算案が承認され、

新年度の歩みが始まりました。地区委員長としては二期四年目(通算五年目)の最後のご奉仕の年度となります。どうぞ一年間よろしくお願い致します。

二〇一四年度を歩み始めた四月に、北川辺伝道所が礼拝を休止しなければならぬというところをお聞きし、秋山徹教区議長、栗原清教区書記と共に同伝道所を問安し、様子をお聞きしました。様々な要因が重なっていたようですが、休止とならざるを得なくなったことは極めて残念です。

五月に開かれた地区委員会でも、埼玉地区内に「教会ではあるが伝道所規模の教会」もあるということが話題となりました。そのような小規模教会や伝道所を埼玉地区としてどのように支援できるかが、今後の課題であることを改めて考えさせられました。

新地区委員紹介

西川口教会 金田 佐久子



地区委員としてもう一期奉仕するようにと、地区総会でご選出されました。神の召しと信じてお受けしました。地区総会直後の地区委員会では地区会計の担当となりました。五月の地区委員会では、来年夏に開催される埼玉地区教会全体修養会の担当となりました。その他に地区の働きとしては、地区ホームページ委員会の書記をしています。

埼玉は都市部とそうではない地域、また教会規模の開きも大きく、課題もそれぞれです。そして教会の構成員の高齢化の問題もあります。そうした現実を簡単に解決することは出来ませんが、埼玉地区にある教会・伝道所として共有していくことは出来ません。課題や問題を共有していく所から新たな道筋も見えてくるかと存じます。そのためには、二〇一四年度の埼玉地区の各委員会、各部、自主活動委員会活動に積極的にご参加いただき、地区の教会・伝道所が今抱えている課題や問題を共有していただければ幸いです。(地区委員長)



地区委員に選任されて

鴻巣教会 川染 三郎



埼玉地区委員に選任され驚きと戸惑いを隠せませんでした。すでに引退した者です。静かにご奉仕をしたいと願っていました。かつて東京教区東支区に二十六年いたこともあり、埼玉地区について知らないわけはありません。しかし、埼玉地区には、今日の課題があり、どう関わるかを考えています。

小川教会 末 永廣
三月の地区総会にて初めて地区委員に選任されました。小川教会に着任して一年程しか経っていませんので、地区全体の働きを熟知していません。地区委員会や諸委員会の皆様にご迷惑をお掛けすることを許し頂き、ご指導ご鞭撻を頂くことで任期中与えられました委員会の分掌を無事に果たして参りたいと願っております。

今年度の地区委員に女性が一人だけなのがとても残念ですが、初めて地区委員になられた方が加わり、共に労苦を分かち合えることをうれしく思います。

自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です(ローマ十二・一)。今年の西川口教会の御言葉です。用いていただけたこと、できることが幸いだと感じているこの頃です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

鴻巣教会もそうですが、教会の力が失われつつあります。現状を変革する志によって、教会の本来の姿を回復しなければならぬと思います。現在はい人間的思惑によって、教会が揺れているように思えます。まず神が御業をなさる場としての礼拝の回復です。つまりキリストの体なる教会を建てあげることでです。どのようにするかについて、一教会ではできないことも、協力し合えば可能だと思えます。教会制を持たない地区です。ので限界がありますが、信頼関係を結べる教会が志と祈りの一致によって道が拓かれることを祈っています。

地区委員に再選されて

上尾合同教会 小岩 晃



三月二十一日の地区総会にて再選され、二期目を勤めることになりました。総会後の地区委員会で、引き続き「地区壮年部」と「障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会」(アーモンドの会)の担当を委嘱されました。

この二年間、奉仕を通して多くの方とお会いでき、懇談会などでのバズセッションは特に有意義な一時でした。「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかりと立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」(コリント一・十六章十三節〜十四節)と書かれています。

地区の活動が主の宣教の業にかなう原動力となることを願っています。これからの二年間、託された務めに励んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地区委員に選ばれて

上尾使徒教会 国府田 秀行



先日の地区総会において初めて地区委員に選出されました。

私は聖学院大学入学をきっかけにキリスト教に触れ、三代に入った二〇〇三年イースターに受洗しました。これまで教会役員としては書記・総務を主に担当していましたが、昨年度からは会計を担当することになり、これまで知らなかった教会における働きに驚いているところです。

奇しくも先日地区総会開会礼拝で、山ノ下先生の説教に心強くされると同時に反省し、心新たに役員として頑張ろうと思った矢先の選出でしたので戸惑うばかりです。しかし私のような未熟な者も地区委員には必要であるとの御心と信じ、微力ながらも全うしたいと思います。

信仰歴も人生経験も浅い私ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

新任教師紹介

ご挨拶にかえて

東大宮教会 久保島 泰



静岡県伊豆高原にあります伊豆八幡野教会から参りました。日本で、あるいは世界で、最も低い「高原」です。伊豆急線「伊豆高原駅」海拔六十五メートルが最寄り駅で、十分も歩けば海岸です。

十年間、健康管理のために時々海沿いの遊歩道を散歩しました。生まれは信州ですが、新鮮でわくわくした時間でした。小さな入り江と小さな岬で海と陸とが入り組んだ道を歩くのです。良く似た地形の連続で、ここはさつき通ったはずだが、と不思議な思いに捕らわれたりしたものです。

この度は、再び海無し県に参りました。海は無くとも、川沿いの緑地の散歩道を教えていただき、これはこれで懐かしい思いで歩いております。海でも川でも、主に備えられた道をひたすら歩いて行きたいと思えます。

静岡県の伊豆高原にあります伊豆八幡野教会から参りました。日本で、あるいは世界で、最も低い「高原」です。伊豆急線「伊豆高原駅」海拔六十五メートルが最寄り駅で、十分も歩けば海岸です。

よい牧師になりたい

東大宮教会 久保島 理恵



先日、教会学校で誕生会があり、私も子どもたちと一緒に祝いしていただきました。一人ひとり名前を呼ばれ、皆の前に立ちました。すると司会者がこう言いました。「それでは一人ずつ、誕生日と『将来何になりたいか』を聞いてみましょう。」

困りました。一応、このまま牧師を続けさせていたただきたいのだけれど…。考えあぐねているうちに順番が回ってきてしまいました。そこで、とっさにこんな答えが飛び出しました。「将来はよい牧師になりたいです。」

よい牧師とは何か。自分の口から出た言葉ですが、その意味を改めて深く考えさせられています。よいかどうかは、主ご自身がお決めになります。私自身は「取るに足りない僕です。しなげに足りないことをしただけです」(ルカ十七章十節)と申し上げることができると同時に、この地で主にお仕えしたいと思えます。

先日、教会学校で誕生会があり、私も子どもたちと一緒に祝いしていただきました。一人ひとり名前を呼ばれ、皆の前に立ちました。すると司会者がこう言いました。「それでは一人ずつ、誕生日と『将来何になりたいか』を聞いてみましょう。」

埼玉地区に来て

秩父教会 温井 豊



私は西中国地区山陰東分北堀教会から

異動して来ました。今回の人事で、今年創立二〇六年になる秩父教会に迎えられる事を心から感謝しています。

秩父教会はホーリネス信仰の伝統に立つ古い教会で、今後もホーリネス信仰を大切にしたいと思っています。

今回、埼玉地区に異動して来た時、李秀雲牧師が生きていたらと思つたものです。それでも亡くなる前に、松江から駆けつけ聖路加国際病院で最後の別れの機会が与えられ感謝しています。ただ悲しみの余り、折れなかつた事が今も心残りとなつていきます。

以前、私は牧師をしながら福祉の仕事をしたと思ひ、五年前に国家試験を受けて社会福祉士の資格を取得しました。今度はその資格を教会・伝道の中で活かしながら、秩父教会の宣教の働きに励みたいと思つていきます。

秩父教会はホーリネス信仰の伝統に立つ古い教会で、今後もホーリネス信仰を大切にしたいと思っています。

ご挨拶

秩父教会 温井 節子



神奈川県・横浜が出身地です。高校生で受洗し、二

埼玉に里帰り

志木教会 横山 基生



主の摂理の中にあつて埼玉地区に里帰りしてきました。

宜しく願います

志木教会 横山 好江



東京新生教会(西東京地区)から志木教会に参りま

初めまして

七里教会 太田 光夫



この度、福井県から転任して来まして。わたしは

杖一本を携えて

久美愛教会 遠藤 公義



巡回教師の働きは、多くの場合、急に無牧になった

十代に神学を修得したいという願望を持ちました。願望が叶い、最初にアメリカ・ミシガン州のグランドラピッツ聖書音楽学院に、次にイリノイ州・シカゴのムーディ神学校に留学しました。ムーディ神学校在学中、宣教会議において「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。」(マタイ二十八章十九節)の御言葉が頻繁に語られました。その時、居ても立ってもいられない責務を強く感じました。

た。西川口教会が母教会で、大を卒業し献身して東京聖書学校に入学するまで、埼玉地区の様々な活動に参加させていただきました。特にKKS時代、地区内の多くの教会の中高生たちと会合やキャンプ等で良き交わりをしたことを思い出します。私がお世話になった先生方は、ほとんど異動や隠退等で地区内にはおられないと思います。信徒の方々はそれぞれの教会でも教会の柱として励んでおられるであろうことを思う時、これから様々な会合で再びお会いできるので、楽しみにしています。

志木教会には附属泉幼稚園があり、キリスト教保育の使命を覚えつつ、来年度から始まる行政が進める新制度にどのようによい道を進むべきか、情報を集めています。よろしく願います。

幼児教育の現場は初めてですが、園長の役を得た夫と共に副園長として、子ども達から元気を貰いながら励んでいます。結婚以来約十七年間を海外で過ごし、後半はOMFインターナショナル宣教師として在英邦人伝道に携わりました。宣教師として現在も奉仕しており、OMFディアスポラ伝道部の執行役員に当たる務めを担っています。日本での伝道、牧会経験が少ない者ですが、皆様に教えていただきながら励んでいます。

私は自然だと思っていますが、興が乗って来ると大阪弁で話しています。帰って来て(そんな風を感じています)、関東の先生方のスマートさを感じています。わが家の三番目は大阪のキタ育ち、こてこての大阪弁を操ります。十六歳になる愛犬「アーク」は、大阪弁の方が会話になると思い込んでいます。そんなこんなはありますが、埼玉地区のお交わりに加えて頂きますよう、願っています。

帰国後、牧師を目指して、中田重治の指導を受けた牧師たちが創設した基督兄弟団聖書学院を卒業しました。この教団は戦後一九四六年に日本基督教団から離脱して設立した教団です。そこで准允を受けて教会に赴任後、日本基督教団に教師転入したのです。希望の関東教区の教会に転任出来て、一層の喜びを感じます。

教会は、入って何ほです。八月からリコーダ・アンサンブルを始動します。詳細は、太田に問い合わせください。

十数年が経ち、雪国の母教会で一人暮らしをしていた姉の介護が始まり、月一度だった片道二〇キロの介護の道が、やがて毎週になりました。二〇一二年夏に八十歳で姉は天に召されました。残された大量の本を処分し、一緒に自分の神学書も処分しました。

そんな二〇一三年秋、埼玉新生教会の中村眞先生より久美愛教会への招聘のお話がありました。神様は不思議なことをされます。杖一本、下着二枚だけで宣教に押し出された弟子のようです。笠井庄之助牧師の逝去直後に招聘依頼がありましたが、このたび同じ教会から二度目の招聘でした。今度は、謹んで天の声に従いました。

二度目の招聘でした。今度は、謹んで天の声に従いました。

新会堂完成感謝とご報告

武蔵豊岡教会 島崎 光雄

礼拝を献げる神の家、キリストの体なる教会建築を教会員が一致協力して折りつつ実現する事を願い、教会標語に『御言葉に従い、神の家を建てる教会』を掲げ、年間聖句を歴代誌上二十二章十九節『今こそ、心と魂を傾けてあなたたちの神、主を求め、神なる主の聖所の建築に立ち上げられ。』を掲げて、六月三十日、新会堂は完成しました。



国道十六号線の拡幅工事に伴い、教会学校教育館と緑豊かな楓、恵みの実りを与えてくれた大銀杏の他に境内の四分の一が新国道になる為に礼拝堂も移転を余儀なくされ、国道沿いに百五十度回転して曳家し、大規模修繕と耐震補強を施し

て移築、改修をしました。解体した教育館や集会室は、バリアフリーを施した鉄骨造の付属棟を隣接して新築し、各室の間仕切りを移動すると大集会室として利用出来るようになりました。

武蔵豊岡教会が入間の地に建つて二五年、献堂九十年の節目にして初めて体験する大きな試練であり又恵みでありました。一九八九年に国道の拡幅計画を伴う入間市の都市区画整理事業再開発計画が発表されて以来二十五年、行政の度々の計画変更と地域住民との紆余曲折の折衝と変遷がありました。私たちは、主の教会建築を通して地域に開かれた教会として、益々豊かにイエス・キリストの福音を伝えたいと心から願いつつ一足ずつ歩みを進めて参りました。特に、信仰の先達が献身と感謝の祈りをもって献げた、歴史あるW・Mヴォーリス設計の礼拝堂をどのように修復して再利用し、次世代へと継承するか、建築計画を策定し議論を重ねる度に、想定外の巨額の資金が必要である事に絶句したことも度々でした。しかし、「必要なもの、必要な時に、必要なだけ、与えて下さるインマヌエ



ルの主」が教会建築の幻の実現へと向かわせて下さいました。

教団総会議長石橋秀雄先生を始め、教区地区の先生方にご賛同と推薦の言葉を頂き、「教会建築献金のお願い」の手紙を全国の諸教会にお送りさせて頂きましたところ、多くの教会と主にある兄弟姉妹から尊い献金をお献げ頂きました。紙面をお借りして心から感謝と御礼を申し上げます。

『あなたは、わたしの愛する子、わたしの心に適う者』

私たち一人ひとりが、神さまの御心に従い、主に用いられますようにと自らを主に献げる時、それは人が行ったのではなく、主の聖霊が力強く働いて下さったのだ、と言う事を教会建築の奉仕を通して覚え、心から感謝しています。

(教会建築委員長)

第十三回 I T 祭り

上尾合同教会 岩佐 浩一

二〇一四年六月二二日(日)午後三時から、埼玉新生教会にて第十三回 I T 祭りを開催いたしました。

今回は、「視聴覚まるごと研究所」を主宰されている町田勝彦氏をお迎えして礼拝堂の音響について講演していただきました。



「伝える」ことがいかにか、聞こえ方は人それぞれ違うので伝える側が意識をしないと伝わらないということからお話は始まりました。

礼拝堂の音響設備について、一番大切なのは入力源である人の声なのだと分りやすく説明していただきました。マイクからスピーカーまでの設備の専門的なこと、牧師の説教が聞こえやすい礼拝堂と聖歌隊の賛美が良く聞こえる礼拝堂は相反していること、高価な音響設備であっても聞こ

えづらい礼拝堂があり、それほど高価な音響設備でなくても造り方によってはよく聞こえる(伝わる)ことができるというお話が印象に残りました。説教の録音をうまくとる方法は録音する前にヘッドホン等でどのように聞こえるのか、どのように録音できるのかのチェックを必ず行うこと。また録音機器の内蔵マイクは指向性がなくノイズも拾ってしまいうので、外部マイクを接続して、拾いたい音の方向にマイクを向けるようにというアドバイスでした。

また、同研究所のホームページでは日本国内のキリスト教会ホームページのインデックスページを作っていて、充実しています。ぜひご覧ください。

休憩をはさんで、当日参加された方の教会のホームページを紹介を行い、ホームページを持ちたい教会の方からの質問等もありました。

閉会祈禱を東海林昭雄牧師(埼玉通り教会)が行い、最後に参加者全員で集合写真をとる散会となりました。十一教会二十六名の方が参加され良かった時の時となりました。

(HP委員)

教師研修会報告

和戸教会 三羽 善次

今年度の研修会は、教会全体が癒される事によって、活き活きとした教会づくりを共に探っていく事を願い、主題を「癒しの教会形成」としました。講師は聖学院大学の窪寺俊之先生、参加者は三十四名でした(七月十四、十五日)。

窪寺先生は、牧師はもとより教員も、教会の牧会や伝道について、「牧師はこうあらねば、信徒はこうあって欲しい」と既成の枠にとらわれて、窮屈になっている教会の現状診断から語られました。

このような状態の中で、牧師も信徒も疲れ、共に心のケアが必要となっており、「よくやっている」と自分に声をかけるケアも必要だ、と言われました。

また、人の心に寄り添おうとする時、相手の言葉を五つの面で聞く事が大事である、と言われました。心を①「聞く」(事柄をさぐく)、②「聴く」(心の動きをさぐく)、③「訊く」(尋ね引き出す)、④「効く」(信頼関係をつくれる効果ある聴き方)、⑤「利く」(その人の感性にそって耳利きになる)という、いくつもの「きく」あり方を示されました。

結びは、伝道者は神の召しを受けた恵みを常に忘れず、神に委ね癒されて大胆に教会に仕え、癒しの共同体を造る使命を語りられました。先生は同労者として、終始わたしたちを一步前へ押し出す言葉を語って下さり、わたしたちを力づけて下さいました。

(教師委員会委員長)

環境問題講演会

川口教会 本間 一秀

社会委員会主催環境問題講演会が六月十五日午後三時より埼玉和光教会にて行われました。元アジア学院院长長田坂興亜師による「歴史の分岐点に立つて——呪いか祝福かの選択」から聞きました。原発を再稼働したり、輸出しようとするのは、「犯罪行為」としか言いようがありません。」と指摘されました。

最後に「ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。」(イザヤ書二章四、五節)との聖句で結ばれました。感慨深い有意義な会でした。出席九教会三十名。

(社会委員会委員長)

(詳細は「埼玉の夜明け」をご参照ください。)

埼玉地区婦人部総会

武蔵豊岡教会 中松 聖美

四月二十一日(月) 大宮教会を会場として開催した。四十一教会、伝道所、集会所の参加があった。

主の御前で地区婦人部の一三年度の総括と十四年度の計画を明らかにし、全てが承認された。質疑応答の時は各教会から、今日抱えている諸問題が出された。高齢化に伴い働き手の減少により活動を続けていくことや分担金も負担であるとの意見が出される一方、婦人会の働きに誇りを感じ、後ろ向きにならず前向きに考えたい。厳しい中にあっても活動を続けたいとの意見が出された。

もう一度、原点に立ち返り、活動の内容をしっかりと共有することが大切であると痛感した。それぞれの教会の現状を把握し折りつつ御心に問い続けなければならぬとの思いを強くした。

いずれにせよ、わたしたちは到達したところに基づいて進むべきです。(フィリピの信徒への手紙三章一六節)

(地区婦人部委員長)

(詳細は「埼玉の夜明け」をご参照ください。)

教会音楽講習会

大宮教会 長基 雅子

教会音楽委員会は、今年度、信仰生活の基本に立ちかえり礼拝そのものについて学ぼうと、年間テーマを「礼拝について学ぶ」として二回の講習会を計画しています。

六月二十一日(土)

同志社大学教授の越川弘英先生を講師にお迎えし、埼玉新生教会で第一回の講習会が開かれ、十五教会三十九名が参加されました。開会祈禱は鴻巣教会の川染牧師、閉会祈禱は埼玉和光教会の三浦牧師にさせていただきました。



「礼拝とは何か」と題しての講演は、キリスト教礼拝の歴史、意味、実践の三部からなるわかりやすく、内容豊かなお話でした。

キリスト教礼拝の源流は、ユダヤ教の神殿礼拝(神への捧げ物)、シナゴーク礼拝(み言葉)と家庭礼拝(感謝)にあること、それぞれの要素が長い歴史の変遷を経て、今日の形になったことを教えていただきました。現代の日本の礼拝は、「リタージュカル型」「説教中心型」「コンテンポラリー型」の三つに分けられるそうです。

礼拝の基本的な意味として、神の愛の招き、神の愛に対する人間の応答、神に創造された世界と隣人への執り成しという三つの視点があること、特に神と私の垂直の関係に対し、その応答は限りなく平等に広がるというお言葉は心に強く残りました。



礼拝にはいろいろな形があつてよいが、基本的な構成は、啓示的要素(聖書、説教、聖餐等)と応答的要素(感謝、賛美、執り成し、奉獻等)の組み合わせであるとのこと。

奏楽、聖歌隊、会衆賛美等礼拝の中での役割をしっかりと受けとめ、力強く応答をしていきたいと思えます。

十月の第二回講習会「礼拝の実際」も楽しみです。

(教会音楽委員会)

特集

社会福祉法人

愛の泉について

理事長 森田 弘道

本法人の事業は、まず一九四五年に、太平洋戦争の結果出現した孤児院「愛泉寮」の創設に始まります。その際、生活苦のため棄てられた乳幼児も救済事業の対象となっていたので、「愛泉乳児園」も一緒に創立されたと言えます。事業が始められた場所は、現在の愛の泉の諸事業と愛泉教会が存在する埼玉県加須市土手地区です。今からほぼ七十年前のことでした。この事業を祈りと共に神の召命と信じて始めたのは、それ



以前から親の無い子どもと家の無い高齢者のための「家」を作ろうと念願していた、ドイツ人宣教師ゲルトロード・E・キュックリツヒ女史と岡安ゴム社長岡安正庫氏を中心とするキリスト者の群れでした。終

戦間もない昭和二十年代の物資不足のさ中に、畑が切り開かれ、そこに忽然としてペンキの色も真新しい家々と教会が出現したのは、当時高校生であった筆者にとっても加須の住民にとっても驚きの出来事でした。その中で岡安氏の創業者としての祈りと努力、ミッション団体を通じての援助、そして国に於いて児童福祉法や社会福祉法人法などの福祉制度の創設がなされ、事業は次第に安定を見せることになりました。

加えてキュックリツヒ女史が幼児教育の専門家であり、来日した一九二二年から終戦時まで、東京での幼児教育の指導と実践があったので、百五十名定員の保育所「愛泉幼児園」を一九四六年に創設し、地元の乳幼児保育を一手に引き受けることになったのです。

地元の市民の方々はこのよき地元貢献を見、利用することを通して、愛泉寮に信頼を寄せることになったのです。創立者

の信念である地元への貢献と地元根おろしすること、手つなぎをよくするなどがよく理解され、今日に至るまでもその良好な関係は継続しております。



あいせんハイム

キリスト教主義の法人理念としては、①神の召しと献身を自覚する、②助ける人なき者のために助ける人となる、③子どもと高齢者を中心に置いた働き、④地域社会に根おろしをする、⑤地域と施設における手つなぎをよくする、⑥子どもと教会と家庭を重んずる（3Kの教え）、を掲げています。

一九五八年には、当時の養老院「愛の泉老人ホーム」（現「あいせんハイム」）が八十名定員で創設されました。これも当時は戦後間もない頃でしたので、家族の無い、無収入の高齢者の扶養と養護のために整備が急を告げていたものでありました。この施設は二〇〇一年二月には居住棟全体が三階建て全室個室で改築されました。同時に付帯する施設三か所が新設されました。

日本の社会に於いて、要介護老人の存在がクローズアップされた一九八一年には、特別養護老人ホーム「愛泉苑」が八十名定員で創設されました。同時に付帯する施設六か所が併設されました。

ここに、今日当法人においては、十八の施設もしくは事業所、そして三〇〇名の職員を擁する法人となりました。そして

利用する人々は定員ベースで五〇〇名、実人員では五五〇名程です。



こどもの城

法人としての特徴は、上に加えて次のようなことです。①キリスト教主義、②児童福祉（保育と養護）と高齢者福祉（入所・通所・訪問）を統合した総合施設、③開拓性・先進性・地域性の統合、④存続する限りカイゼンに努める施設。

詳しくは愛の泉ホームページ（www.ainoizumi.com）をご覧ください。

地区委員会報告

●二〇一四年度第一回委員会

日時 三月二十一日(金)
会場 東京聖書学校吉川教会
出席 十名 陪席四名

【主な協議事項】

1. 埼玉地区総会諸報告承認及び議案決定事項の確認の件

総会補助書記の高田輝樹牧師と法元聖親牧師が陪席

2. 地区委員の役割分担の件

委員長 土橋誠(飯能)
副委員長 山岡創(坂戸いずみ)、書記 布村伸一(熊谷)、
会計 金田佐久子(西川口)、
補助書記 豊川昭夫(越谷)
補助会計 国府田秀行(上尾使徒)

伝道 布村伸一、豊川昭夫
教育 山岡創(坂戸いずみ)
社会 後藤龍男(和戸)
教師 野村忠規(東松山)
地区通信 末永廣(小川)
ホームページ 金田佐久子、
豊川昭夫 修養会 未定

災害対応 山岡創、豊川昭夫
壮年部 小岩晃(上尾合同)
婦人部 後藤龍男 青年部
山岡創 障教懇 小岩晃
教会音楽 川染三郎(鴻巣)
埼玉宗連 飯野敏明(本庄)・
委嘱 同宗連 飯野敏明・
委嘱 川越少年刑務所教誨

●二〇一四年度第二回委員会

日時 五月十六日(金)
出席 十一名 陪席 一名

【主な報告】

◆委員長報告

*教会・教師の情報
就任 太田光夫(七里)、温井
豊、節子(秩父)、久保島泰、理
恵(東大宮)、横山基夫、好江
(志木)、佐々木羊子、佐々木千
沙子(東京聖書学校吉川)
伝道所活動休止 北川辺
◆四月一日から五月十五日ま
での会計報告

◆各委員会・各部報告
【主な協議事項】
◆教区総会設営の件
栗原清教区書記陪席のもと、
第六十四回関東教区総会(五
月二十七日〜二十八日
於…大宮ソニックシティ・
小ホール)の設営に関して、
以下の取り決めをした。
設営委員会構成…委員長
土橋誠、設営委員 地区委員
教区事務局 栗原清教区書

記(武蔵豊岡)、金刺裕美教区
主事(上尾合同)
上尾合同教会(六名)、大宮教
会(六名)、埼玉新生教会(三
名)の三教会に対して、教区
総会開催時の開票奉仕者とし
て、信徒の選出を依頼する。
奏楽者は、教区より依頼済み。
開会礼拝説教者の選任…東
野尚志牧師(聖学院)。
聖餐式司式者、補助者の選任…
西海満希子牧師(越生・主)、法
元聖親牧師(深谷・補助)
聖餐(パンとぶどう液)の準
備は上尾合同教会
◆深谷西島教会「埼玉地区伝道
支援金」申請の件
伝道用ミニバイクの代替え
購入の一〇三、〇〇〇円の内
五万円申請があり、これを
承認。

◆地区総会付託議案に関する件
①議案第七号・地区会計監査
選任の件 次回委員会で協
議する。継続審議。
②議案八号・総会議事録確認
に関する件 次回委員会で
協議する。継続審議。
③議案九号・次回地区総会会
場及び日程の件 二〇一五
年三月二十一日(土)、午前
九:三〇〜午後三:三〇。会
場は武蔵豊岡教会。

◆地区委員会主催集会等に関
する件
①新年合同礼拝
日時…二〇一五年一月十二
日(月) 十時三十分より
・今年度は最寄り区毎に行う。
②地区総合協議会
日時…二〇一五年二月十三
日(金) 午後七時より
会場…埼玉新生教会
③伝道所・集会所との懇談会
日時…十一月十一日(火)
午後三時〜五時
会場…埼玉新生教会

◆地区委嘱状の件 例年通り、地
区月報八月号に掲載する「埼
玉地区各委員会・各部名簿」
をもって委嘱状に代える。
◆韓国基督教長老会京畿中部
老会埼玉地区訪問の件
・日程は二〇一四年六月九日
(月)〜十二日(木)。上尾合
同教会、狭山教会、埼玉和光
教会などを訪問

◆教会全体修養会に関する件
・委員長に末、副委員長に金
田、委員に川染が就任
・次回委員会で、開催内容、講師
選定、委員構成等を協議する。
◆その他
・次回委員会で十一月十一日
に行われる伝道所と集会所
との懇談会の内容に関して
協議する。

閉会祈祷 野村忠規

地区総会を経て、土橋地区委
員長が五年目のお働きを開始
した。私たちが各々の教会の問
題を共有しながら、各委員会開
催の集会に積極的に参加して、
解決のヒントを見出して行き
たい。地区委員になられた方々
の常なるお働きに感謝する。
埼玉地区に新しく八名の教
師が加わって下さった。活力あ
る埼玉地区にしていきたい。
武蔵豊岡教会の新教会堂が
完成した。喜びの報告が寄せら
れている。
教会音楽委員会では、教会音
楽の歴史を学ぶことから発展
し、礼拝のものについて学ぶ
講習会が開催された。礼拝の形
式や意義について認識を新た
にできた。
特集では「愛の泉」をご紹介
いただいた。終戦間もないころ
諸先輩は、生活困難な人たちに
救うために、地元でさえ驚くよ
うな具体的な活動と奉仕をな
さっていたことがよくわかる。
昨今、高齢化により伝道活動が
停滞しがちなことも現実では
あるが、困難さは戦争直後の方
が大きかったと思われる。先人
たちの知恵と力を学びたい。

編集後記